



## カルシウムスコアCTについて

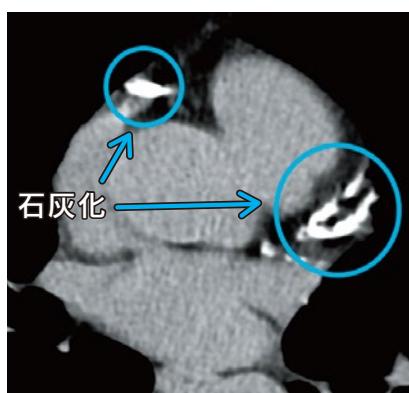
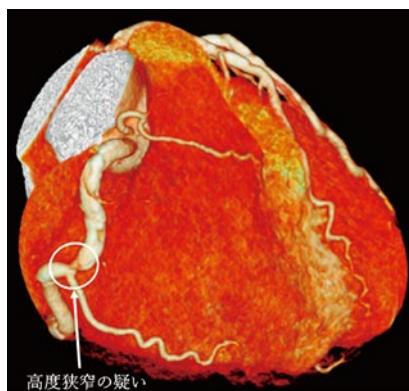


図1 冠動脈石灰化

図2 造影冠動脈CT  
(参考イメージ)

この度、当院の健診・人間ドックにて「カルシウムスコアCT」をご依頼いただいた様子が整いましたので、ご案内申し上げます。

国内の死因統計において第2位に位置する心疾患の中で、重要なものの一つに心筋梗塞があります。心筋梗塞は突然死を来たしうる疾患で冠動脈の石灰化を一因として起こる動脈硬化が原因ですが、この石灰化は血管壁に生じたplaquesが炎症性変化を経て安定化する過程で出現すると考えられており、その有無や量は冠動脈硬化の重症度と相関し将来の心血管イベントの予測に有用であることが知られています。カルシウムスコアCTは冠動脈石灰化（図1）の程度を数値化して動脈硬化による血管の狭窄や閉塞のリスクを評価できる検査であり、造影剤を使用せず約10分間で施行可能です。一般的に石灰化評価に用いられるAgatstonスコアでは低リスク・中等度リスク・高リスクに分類され、約4万人の冠動脈疾患の既往のない無症状の中年患者を対象としたある研究では、スコア0（石灰化なし、低リスク）の場合、その後10年間の全死亡率が1%未満であったと報告されています（JACC Cardiovascular Imaging 2009;2(6):692-700）。検査結果は「石灰化スコアレポート」として、上記のリスク分類をもとに分かりやすい形でご提供致します。

喫煙歴、高コレステロール血症、糖尿病などのリスクファクターをお持ちの患者様でご興味の方がいらっしゃいましたら、お気軽に御相談ください。

すずき よしあき  
放射線技術科 鈴木 義曜

# 医療安全研修開催報告

2025年2月26日に医療安全講習会が開催されました。インフルエンザ感染症が下火になり、逆に新型コロナ感染症が再燃してきた時期でしたが、70名程度の職員が参加できました。我が国の「医療安全」を考えるきっかけになった1999年の「患者取り違え事故」から25年の年月が過ぎようとしていますが、何度聞いても背筋がゾッとするような緊張がよみがえりました。「何かおかしい」「危ないのではないか」と気付いていてもブレーキがかけられない日本の医療組織体制にやっとメスが入り始めた出来事でした。

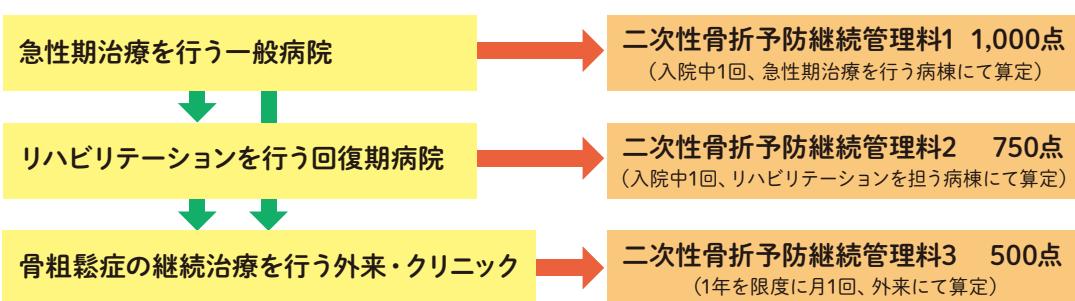
今回の研修ではKYT(危険予知トレーニング)の必要性や医療チームのコミュニケーションエラーについても学びました。「自身の常識と相手の常識は同じではない事」「自分がやらなくても誰かがやってくれるだろうと思ひ見過ごす」「コミュニケーション量の不足によるエラー」「情報の解釈の違い」「多忙による確認不足」等、通常ありがちな例を挙げて説明を受けました。コミュニケーションの精度を上げる4C【明確さ】【正確さ】【完結】【簡潔さ】を積極的に使っていく大切さ、心理的安全性については地位や経験にかかわらず、誰もが率直な意見・素朴な疑問を言うことが出来る組織風土が大切である事も再認識いたしました。これからも、お互いに指摘し合える風通しの良い職場環境や事故を未然に防ぐ対策づくりをリスクマネジメント部会員と共に整えていきたいと思います。

医療安全管理委員会 看護部部長 稲葉 圭子



## 骨折リエゾンサービス(FLS)及び二次性骨折予防継続管理料について

骨折リエゾンサービス(FLS)とは、さまざまな職種の連携により、脆弱性骨折患者に対する「骨粗鬆症治療開始率」「治療継続率」を上げるとともに、転倒予防を実践することで二次骨折を防ぐ取り組みです。脆弱性骨折を起こした患者さんの、「骨粗鬆症治療開始率」「治療継続率」を上げ、リハビリテーションの視点から転倒予防を実践することで二次骨折を防ぎ、骨折連鎖を断つことを目指します。2022年度診療報酬改定では、大腿骨近位部骨折の患者さんに対して、同スタンダードや「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」に沿って継続的に骨粗鬆症の評価や治療等を実施した場合の評価が新設されました。この改定は、大腿骨近位部骨折の再骨折予防とともに、骨粗鬆症リエゾンサービスの活動そのものを広く推進するために大きな意義を持つもの考えられます。



当院では、2024年に整形外科常勤医(岡林整形外科部長)の入職に併せてFLSチームを立ち上げました。施設基準を満たすことにより届出を実施し、『二次性骨折予防継続管理料1』を算定できるようになりました(当該管理料を算定できるのは賀茂医療圏においては当院のみ)。二次性骨折予防継続管理料は3種類あります。施設ごとに算定できる項目が異なり、評価と治療については骨粗鬆症の予防と治療ガイドラインおよびFLSクリニカルスタンダードに基づいて行なわれています。近隣の医療施設においても、施設基準及び算定要件を満たせば『二次性骨折予防継続管理料2、3』の加算を算定できますので、骨粗鬆症リエゾンサービスを新たに始める施設、さらに充実させる施設が増えるよう期待しています。質問等ございましたら、当院チーム事務局杉本または蓮沼までお問合せ願います。

おかげさまで  
おつかれさまでした

整形外科医師 岡林 俊貴

# 下田メディカルセンター 入職式

4月1日（火）、下田メディカルセンターでは新入職員入職式及び辞令交付が行われました。今年は医師2名、看護師5名、看護助手1名、放射線技師1名、PT1名、OT2名、事務2名と多くの仲間が加わりました。早く業務に慣れて、地域医療に貢献していただくよう期待しております。



## 入職に当たっての抱負

今年度から看護師として働かせていただくことになりました。  
患者さんの心身の回復を促す看護を提供できるよう常に向上心を持ち、専門的な知識や技術を身につけていきたいと思います。

看護師 米澤 京介



## 新入職医師紹介

(2025年4月)



よしだ　たかあき  
**吉田 貴光**

内科  
医師

### 経歴

2018年 自治医科大学卒業  
2018年 静岡県立総合病院  
2020年 下田メディカルセンター  
2022年 静岡県立総合病院 産婦人科  
2023年 静岡県立こども病院  
産科/NICU  
2024年 静岡県立総合病院 産婦人科

趣味 水泳、子供と遊ぶこと



むらまつ　みく  
**村松 未来**

内科  
医師

### 経歴

2021年 自治医科大学 卒業  
2021年 茨城県立中央病院  
初期研修  
2023年 静岡県立総合病院  
内科専攻医

趣味 料理、旅行

### 自己紹介

初めまして。今年度より常勤として入職しました内科の村松未来です。昨年度までは静岡県立総合病院で消化器内科を中心に診療していました。内科全般、特におなかの困りごとについてはお気軽にご相談ください。少しでもみなさまの助けとなるよう精一杯診療させていただきますのでよろしくお願いいたします。

**自己紹介** 3年ぶりに内科常勤医として戻りました吉田貴光です。この3年間は産婦人科・新生児科で勤務しておりました。そこで経験を内科診療にも活かし、患者さんにとって最善の医療を提供できるように努めます。「患者さんが医師に聞いていけないことはない」をモットーに、限られた時間の中でも丁寧な傾聴とご説明を大切にしてまいります。

**退職常勤医(2025年3月末)**

●内科 鈴木 隆之先生  
●内科 山川 寧々先生

●内科 田丸 智子先生

紹介・逆紹介、誠にありがとうございました。

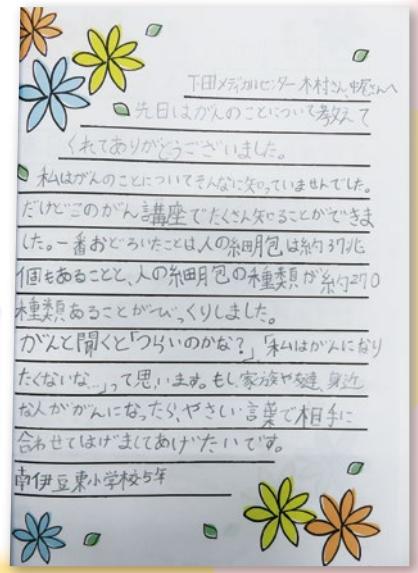
# 児童・生徒に向けた がん教育の活動報告

当院がん相談支援センターでは、がん患者の療養・就労相談や情報提供、患者サロンの開催、児童・生徒に向けたがん教育などを実施しています。がん教育では外部講師として授業に参加、「がんに関する正しい理解と健康・命の大切さを考える主体性を身につける」ことを目的に、養護教諭と協働し活動しています。

今回は1月に南伊豆町の小学校養護教諭より依頼を受け、南上小学校6年生5名、南伊豆東小学校5年生18名6年生13名、南中小学校5年生15名、保護者も数名参加され開催。がん専門相談員が【がんについて学ぼう、「がん」ってどんな病気】、がん性疼痛看護認定看護師中尾多美子が【がん患者さんとの関わり】と題した講義を行いました。児童は初の取り組みで、どのような受け止めをするのか不安もありましたが、一生懸命メモを取り質問するなど学びの姿勢が見受けられ、授業後は「がんは特別な病気ではないことが分かった。」「病気の人にはよく話を聴いて優しくしてあげたい。」など感想を頂きました。

子供たちの笑顔があふれるよう、今後もがん教育を通して地域の健康教育に取り組んで参ります。

がん相談支援センター 相談員 木村 健吾



## 入職のご挨拶

2月より入職した植松翔子です。主に患者様の退院支援を担当させていただいております。院内外のたくさんの皆様の助けを得ながら日々取り組んでいます。一日も早く業務に慣れ、適切な支援をしていけるよう銳意努力していきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

地域医療連携室 相談員 植松 翔子

## Instagramはじめました!!

働きやすい×ライフワークバランス最高!

下田メディカルセンターの魅力や、ここで働くスタッフの日々の様子をお届けします。

美しい海に囲まれた下田で、充実した生活を送りながら働く楽しさを発信していきます！

病院の雰囲気や仕事のこと、オフの過ごし方など、ぜひチェックしてくださいね！フォロー＆応援よろしくお願いします！下田メディカルセンター最高！

Instagram運営チーム

Follow Me! //



発行

## 下田メディカルセンター

〒415-0026 静岡県下田市六丁目4-10

TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050

<https://www.s-m-a.or.jp/shimoda/>

発行責任者 統括管理部長 浅野 好章

アクセス 伊豆急下田駅から徒歩10分圏。路線バスのバス停も目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。



SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

### みなとクリニック(外来)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674

TEL.0558-62-0005

### しらはまクリニック(外来)

〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2

TEL.0558-27-3700

### なぎさ園(介護老人保健施設)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674

TEL.0558-62-6800